

科目名	基礎看護Ⅲ (食事・排泄援助技術)				DP1、DP2、DP3 DP4、DP6		看護高等課程
学年	1年	分野	専門 基礎看護 基礎看護技術	時間数	30時間	担当教員	専任教員
科目概要	基礎看護技術として、対象の生活の要素である食事、排泄と健康の関わりを理解する。また、患者にとって基本的欲求が充足でき、科学的根拠に基づいた日常生活援助技術が安全に提供できるように演習を多く取り入れた。消化管の解剖生理と関連させ、食事・排泄をする生活行動へ結びつける。						
到達目標	1. 食事の意義を理解することができる 2. 消化器機能と摂食能力を捉える視点がわかる。 3. 食事介助時のリスクと予防方法がわかる 4. 安全に美味しく食べるための食事の工夫とその根拠を説明することができる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～15	食生活の援助	食事の意義と生活、食事の援助（食事の援助とは、援助の基礎知識、原則）、経管栄養法、中心静脈栄養法、口腔の清潔（口腔ケアの意義、口腔清拭法、義歯患者の口腔ケア）				講義 演習	専任教員
	食生活の援助	栄養状態、摂食能力のアセスメント					
	食生活の援助	食事援助の実際					
	排泄の援助	排泄の援助とは、排尿の援助、排便の援助、おむつ交換、浣腸、摘便の援助、陰部洗浄					
	排泄の援助	排泄援助の実際					
	試験					試験	
評価基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価方法	出席状況と講義演習への参加態度、課題レポート、筆記試験などで総合的に評価する。また、演習の内容によっては、シミュレーション演習、パフォーマンス課題、ルーブリックに基づき、ポートフォリオの内容等も総合的に評価を行う。						
教科書	新看護学 7 基礎看護 [3] 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床 看護後術 医学書院 必要時、資料等は配布する。						
履修上の注意							